

●甲状腺超音波検査

所見名	説明
<small>のうほう せいしゅりゅう</small> 嚢胞性腫瘍	液体が貯留した袋状の病変です。単発あるいは多発し通常は無症状ですが、嚢胞が大きくなると圧迫感等の自覚症状が認められることもあります。
<small>じゅうじつせいしゅりゅう</small> 充実性腫瘍	腫瘍の可能性の低い結節像（炎症後の瘢痕など）を認めます。精密検査の必要はありませんが、経過観察が必要です。
<small>せんしゅようこうじょうせんしゅ</small> 腺腫様甲状腺腫	甲状腺の細胞が増殖して結節像（炎症後の瘢痕など）を認めます。精密検査の必要はありませんが、経過観察が必要です
<small>こうじょうせんせつかいか</small> 甲状腺石灰化	甲状腺に部分的にカルシウムが沈着した状態です。病気ではないので心配はいりません。
<small>こうじょうせんしゅよう</small> 甲状腺腫瘍	甲状腺の腫瘍には良性腫瘍から悪性腫瘍まで色々な腫瘍があります。良性か悪性かの鑑別のため、精密検査が必要です。
<small>こうじょうせんしゅだい</small> 甲状腺腫大	甲状腺が基準範囲を超えて腫大している状態です。他に所見が認められなければ良性となります。
<small>こうじょうせんいしゅく</small> 甲状腺萎縮	甲状腺が萎縮している状態です。他に所見が認められなければ良性となります。
<small>まんせいこうじょうせんえん</small> 慢性甲状腺炎	慢性甲状腺炎（橋本病）は女性に多い自己免疫性疾患で、前頸部の圧迫感や違和感が多くあります。甲状腺全体が硬く腫大して表面がデコボコします。精密検査を受けて下さい。